



根 笹

2025

(令和7年)

11月1日

発行 根笹会 静 朋人
住所 〒379-0116
群馬県安中市安中3702
TEL. 027-381-0240
FAX. 027-381-0630

ごあいさつ



新島学園同窓会「根笹会」

会長 静 朋人
(32期)

皆様、いつもお世話になります。会長の静朋人(32期)です。日頃、根笹会の各事業におきましては、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今回は2つのお話をさせていただきます。

まず始めに安中の話です。さて、学園中高のキャンパスのある安中市は今、現市長の下その街並みが大きく変わろうとしています。学園の西側に、信越線の新駅を建設する話が進んでおり、新設の条件である周辺市街地の設備計画が立案され、市民に公表されております。また、スーパーやドラッグストア、その他の店舗の出店の話が新たに始まっております。完成予定こそ未確定なもの、完成すれば学園へのアクセスは飛躍的に改善されるのももちろんのこと、街の中心的な機能の一つとして市内外県外からも多くの生徒の通学している学園へ期待とその果たす役割は非常に大きいと思います。

ただ、J Rの新駅の話は高崎の例を見ても、決定するのに早くて10年、街づくりそのものは20年1サイクルを2回、3回と繰り返すという非常に気の長い話となります。その間の市民の動向や、経済の動き、県や国との関係により大きく変化することも予想されます。そのために計画の進捗をよく見極めながら、80年〜100年そしてその先へと続いていく学園にとって、同志社との協定を結んでいる安中市との連携をより強めていく時ではないでしょうか。

続いて同窓会全体の活動についてです。非常に残念なことに、同窓会行事への参加者は毎年少しずつ減り続けております。特に若年層の反応が悪く、本来は毎年卒業生は増え続けるわけですから、非常事態といえます。私自身のリーダーシップの問題やそのほか原因は様々あると思われませんが、長期的な傾向は何かと修正していかなくてはなりません。卒業後休眠が始まり、次に参加が始まるのは50代かも

役員紹介

会長・副会長

会長 静 朋人
32期 安中市副会長 萩原 永史
25期 安中市副会長 山田 中久
26期 安中市副会長 田中 美香
29期 安中市

監査

和 田 弘
27期 前橋市根 岸 誠
28期 高崎市白 田 周一
30期 桐生市

幹事

湯 本 直 也
28期 前橋市大 野 晋 吾
34期 富岡市菊 地 和 美
37期 高崎市長 壁 亜 紀 子
41期 高崎市萩 原 昌 弘
45期 安中市佐 藤 貴 雄
31期 安中市湯 川 嘉 昭
31期 富岡市陳 美 穂
34期 高崎市山 田 恵 一
37期 安中市山 口 香 子
44期 安中市

事務局 長

須 川 裕 (36期)

事務局 員

沖 田 恭 子 (28期)

黒 岩 未 夢 (67期)

酒 井 三 恵 子 (36期)

この度、本部役員に加わることになった31期の佐藤貴雄です。若輩ですが、母校のために力を尽くしますので、よろしくお願いいたします。

しれません。また、東京より遠くへ離れていった卒業生は連絡が取れていないことも多いです。そこで、本年からいくつかの施策を試してみたいと思います。その一つとして、前回の理事・評議員会の時にご意見を頂いたように、地区の根笹会の開催時に若手の参加者の負担を軽減するために、補助を行います。また卒業年度の生徒の中から、生徒会長や目立った活動をしているリーダー格な人物を先生に

選んでいただき、連絡先を共有しLINEのグループを作りまします。そしてそれを繰り返しながら若手の年度毎の縦の繋がりを徐々に作っていきたいと思います。次世代は、若手が作っていくことは間違いない、我々の世代が現役として動けるうちに仕組みを整えていきたいと考えます。

の理念を體現しておられるのは、まさに全国各地で活動されている根笹会の皆さまであり、学園にとって大きな誇りです。

理事長就任から、10年 未来への構想

私が理事長を拝命したのは2015年のことでした。今年で10年目を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返ると「点を線にする」営みを重ねてきた日々であったと感じます。多くの出会いや経験という点やこれまで点在していた見えない宝を繋げ、やがて複数の線を引いて学園の輪郭を形づくってきました。

ポストン訪問

—新たな学びと発見

もし今後10年間、何の対策も打たなければ、入学者数が現在の半分に減少するという予測もあります。この厳しい現実を直視しつつ、使命を確認し、未来を切り拓く歩みを続けてまいります。



学校法人新島学園
理事長 学園長
湯浅 康毅

根笹会の皆さまへの感謝

このたび同窓会会報誌「根笹」が新たに発行されますことを、心よりお祝い申し上げます。まずは、静会長様をはじめ、各地区の会長・役員、そして全ての同窓生の皆さまに、日頃から新島学園を温かく支えてくださっていることに、深く感謝申し上げます。

とりわけ今年度には、マイクロバス購入のための支援を賜りました。これは日常的に生徒が活用するものであり、安全で豊かな教育活動に直結する大切な基盤です。同窓生の皆さまのご厚情と学園への思いに支えられて、学園は歩みを続けております。改めて厚く御礼申し上げます。

新島裏が当地で語った言葉の中に「地方教育論」があります。地方の教育の重要性を訴えたこの

を持つ存在でした。他とは違う圧倒的な価値を地域社会に提示し、共感と信頼を集めていたはず。今日の私たちには、その伝統を単なる誇りとして掲げるのではなく、「知の集積体」として社会課題に向き合い、共に歩んでいく使命があると考えています。



Associate Minister,
Asheley Popperson (右)



YouTube

Joy to the World
by Students of the
Niijima Gakuen

的でした。昨年のクリスマス礼拝では、本校生徒が同教会の礼拝の中で賛美奉仕を行うという、学園史上初の機会をいただきました。その映像は今も記録として残されており、ぜひ多くの方にご覧いただきたいと願っています。



The Japanese HouseディレクターのAkemi Chayama様



また今年は同志社創立150周年の節目の年でもあり、小栗校長が「新島裏の足跡を辿るアメリカツアー」に参加されました。私はその準備としてOrr South Church関係者と会談し、今後のポストン研修旅行や礼拝

奉仕、さらには2年後に控える学園80周年記念事業に向けた連携について意見を交わしました。

さらに、初代理事長・湯浅八郎先生にまつわる新しい史実に触れることができました。ポストン子供博物館にある「The Japanese House」の設立に八郎先生が深く関わっていたのです。1976年のアメリカ建国200年祭を契機に京都市から

「いのちの教育」への挑戦

私は現在、学園の新たな核として「いのちの教育」を進めています。これは単なる一つのプログラムではなく、新島裏が遺した「いのち」の精神を受け継ぎ、教育を通じて未来へ命をつなぐ包括的な取り組みです。その目的は、

1. キリスト教に根ざした6年一貫の「いのちの学び」
2. 新島学園ファームを活用した横断的な教育活動
3. 国内外のプロフェッショナルや事業者との交流
4. 講習会・研修会の実施
5. 教職員による独自実践の展開

といった多方面から構成されます。2025年度は、「みんなのいのちの教育」を学校法人全体で展開し、映画上映会「荒野に希望の灯をともし」を通じて命の尊さを学び、さらにアジア学院でのサマーワークキャンプやファーム活動（今年は無農薬栽培

培の小麦、大豆にチャレンジしています）を拡大していきます。また、ポストンとの交流を含む国際的な活動も行っています。「いのちの教育」とポストンとの関係は一見すると遠いように見えるかもしれませんが、しかし私にとっては、新島裏の「いのち」を当地で受け継ぐ使命と深く結びついており、この取り組みの最終的な目的の一つとして位置づけています。

*この度「みんなの新島学園」募金より作業用耕運機を購入させて頂きました。

また「荒野に希望の灯をともし」上映会費用も同募金より活用させて頂きました。有り難うございました。



未来とともに築くために

いま求められているのは、表面的な「頭の教育」ではなく、真に本質を捉えた「心の教育」です。流行に流されず、文化として根を下ろす教育。新島裏の「いのち」を繋ぐ存在として、新島学園はこれからも独自の役割を果たしていきます。

創立80周年を間近に控えた今日、同窓生の皆さま一人ひとりがその歩みに共感し、力を寄せてくださることこそが、未来への最大の力となります。裏先生、そして八郎先生の志を次世代に手渡す責務を果たすために、どうか今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

最後に、再び皆さまのご健勝とご多幸をお祈りしつつ、新島学園の未来とともに築きゆくことを願い、筆を擱きます。



新島学園の源流を旅して



新島学園中学校・高等学校
校長 小栗仁志

校長 小栗仁志

新島学園中学校・高等学校同窓会根笹会 会報「根笹」の発行、おめでとうございます。また、平素より同窓会根笹会の皆様には、新島学園中学校・高等学校の活動にご理解、ご協力、ご支援を賜り、この場を借りて改めて御礼申し上げます。特に今年度は学園のマイクロバス購入のために多大な資金援助をいただき、心より感謝申し上げます。現在の教育は校舎、教室の中でのみ行われるのではなく、校外の企業や団体のご協力を得ながら体験的に学ぶことが必須になっていきます。購入させていただくマイクロバスは、校外での学習活動や、部活動の遠征などに大切に用いさせていただきます。校長就任3年目になりましたが、まだまだ力不足で卒業生の皆様にご心配をおかけしていると思います。引き続きご指導・鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

今年は2025年です。新島裏が同志社英学校を創立したのが1875年11月29日のことで

す。今年は同志社創立150周年にあたります。新島裏は勝海舟と面談した際に勝から「同志社は何年を期して成らしめんと欲するや（同志社は何年で完成させるのか）」と問われ、新島裏は「これ真神の事業なり まづ二百年の後を期せざるを得ざるべし（これは神がなさる事業なので 200年はかかると考えるべきだ）」と答えたと言われています。150周年はその完成までの200年の4分の3にあたります。いよいよ同志社完成への最終コーナーを曲がったということでしょうか。私は牧師になる学びを同志社大学神学部にて行いましたので、同窓生として感慨深く、また自らに課せられた課題として考えるところがあります。

学期開始直前の学校にとっても大事な時期でしたが海外出張をゆるしてくださいと学園に感謝申し上げます。宗教部長として働いていた時、新島裏の生涯について授業で生徒に教えていました。授業では「さも見てきたように」話していた場所のことを、これからは「本当に見てきた通りに」話すことができます。自分自身にとつてよい学びの時であり、これから生徒たちに新島裏のことを話す際に説得力を増すよい機会でもありました。

ツアーはまず、アーモスト大学ジョンソンチャペルでの記念集会から始まりました。アーモスト大学は新島裏が卒業した大学であり、リベラルアーツカレッジとして現在も全米有数の大学です。リベラルアーツカレッジとは、一つの専門に特化するのではなく、よき市民として必要な教養を幅広く身につける教養教育を行う単科大学（カレッジ）です。「知、徳、体のバランスの取れた教育」は現在の日本のどこの学校でも志していることですが、これを最初に始めたのがアメリカのリベラルアーツカレッジであり、アーモスト大学もその内の一つです。新島裏は知徳体のバランスを重視した教育を最初に経験し、最初に志した日本人なのです。ジョンソンチャペルは新島裏の在学時から存在し、彼が礼拝を

守った場所でもあります。その同じ場所に立つことができること、改めて感激しました。

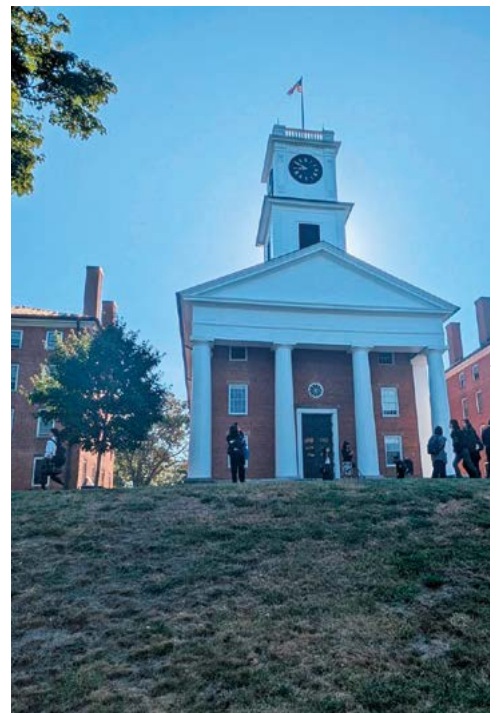
ジョンソンチャペルの正面右側の壁には新島裏の肖像画が飾られています。新島裏がアーモスト大学を卒業したのは1870年ですが、1900年のこと、卒業30周年を記念し同級生の中から一人の肖像画を大に寄贈しようということにな

り、新島裏が選ばれました。すでに新島裏は召天していたので、写真を頼りに制作されたそうです。1901年に大学に寄贈され、まずは図書館に飾られました。その後、1909年に今のジョンソンチャペルに移され、正面右側の「名誉ある位置」に飾られました。

今回うかがって驚いたのが1909年にその「名誉ある位



ジョンソンチャペル内部



アーモスト大学 ジョンソンチャペル

置」に置かれてから第2次世界大戦中も取り外されることなく、その場に置かれ続けたことです。第2次世界大戦時、日本はアメリカ力によって敵国であり在米の日系人の方々は収容所に入れられました。そんな状況の中でも新島襄はアーモスト大学にとって大切な卒業生であり、「名譽ある」存在であり続けたのです。第2次世界大戦下の日本においてアメリカ文化がどのような扱いを受けたのか。敵国で盛んな宗教だということで日本のキリスト教会も国家の監視下に置かれることになりました。そのような歴史を振り返ると、アーモスト大学における新島襄の肖像画の位置づけは驚くべきものであったと思うのです。



新島襄肖像画の前で

今、日本では「日本人ファースト」という言葉が使われるようになり、排外主義が垣間見えるようになってきました。こうした現代社会に生きる生徒たちにこのことをしっかりと伝えたいと思いました。

現在用いられている学習指導要領では、生徒たちの学習を3つの観点から評価することになっていきます。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」の3つです。その中の協働性。時に考え方の異なる他者と協力して目標を達成する力が今、社会では必要とされています。人口減少が急速に進む日本社会では、これから外国人の方々を受け入れて力を借りなければ、産業をはじめ様々

な社会システムが維持できなくなるでしょう。多様な価値観を持つ人々といかに共生していくのか。これは今、本校で学んでいる生徒にとって考え、優先的に身に着けていくべき力です。聖書はどうすれば人を出し抜いて競争に勝ち残れるのかということについては教えてくれませんが、どうすれば他の人と共存できるかについて多くの知恵を与えてくれる書物です。キリスト教教育をしっかりと貫き、そうした時代の変化に対応していきたいとの思いを新たにしました。

翌日バーモント州ラットランドにあるグレイス組合教会を訪れました。グレイス組合教会は新島襄が「日本にキリスト教主義の大学を作りたい」とアピールし、50000ドル（今の価値でいうと1億5千万円ほど）の寄付を得た場所です。その寄付金を元に新島襄は京都の同志社英学校の土地を購入しました。

私は同志社大学神学部卒業生ですが、母校、同志社が具体的に出生した地ともいえます。天井が高く、鮮やかな青色が印象的な礼拝堂です。新島襄がスピーチをしたその場所に実際に立ってみて彼の志したものに思いを馳せることができました。

1874年10月9日、新島襄も所属していた宣教師派遣団体であるアメリカンボードの年次

大会がグレイス組合教会を会場に行われました。アメリカンボードの準宣教師として日本に派遣されることになっていた新島襄に挨拶のスピーチをする機会が与えられました。通常でしたらこれから派遣される日本、彼にとっては帰国する祖国日本ですが、そこでキリスト教を広め、多くの教会を築く決意を述べるべきところでした。しかし新島襄は、これからの日本には自分自身が学んだアーモスト大学のようなキリスト教主義による高等教育が必要であること、その大学設立のために資金の協力をしてもらいたい旨のスピーチを行いました。

宣教師の主たる任務はキリスト教を他国に広めることです。キリスト教が広まっていない土地に行き、そこでキリスト教を伝え、キリスト教徒を増やし、教会を設立することです。キリスト教主義の大学、学校の設立は無関係とまではいいませんが、宣教師の任務からすると副次的なことです。教会がある程度設立され、牧師の養成が必要になった段階で初めて話題になるような事柄です。実際に新島襄が日本に帰って学校設立に動いた時に協力してくれた仲間の宣教師はジェローム・ディーン・デイヴィス以外ほとんどいませんでした。そのような場違いな願いを述べたにもかかわらず、

新島襄の熱意溢れるスピーチは年次大会に参加していた人々の心を打ち50000ドルにのぼる多大な寄付金を集めることに成功したのです。

この出来事は大きく二つのことを教えてくれていると思います。一つは教育の大切さです。国や社会を改善していくには、まず第一に教育だと言われます。外国の支援活動を行っている友人達が口をそろえて言うのは、ある国、社会を発展させ安定させるためには、その国、社会で自分たちに必要な人間を教育し育成することができないと国や社会はいつまで経っても様々な面で自立することができないということです。新島襄は明治になり新しい旅立ちを始めた日本をキリスト教とキリスト教主義教育の両面から改革しようとしたのです。

新島襄が召天する直前、1889年11月23日付けで同志社の学生であった横田安止宛に送った手紙の中に「小生畢生の目的は 自由教育 自治教会 両者併行 国家万歳」との言葉がありますが、まさにそのことを示しています。また、1882年7月15日に群馬県原市にて行った「地方教育論」の講演では「真正の教育を地方に布くに如かず」と述べ、地方の指導者は地方にて育てていく

べきであると語っています。同志社は大会の京都市にある学校ですが、本校、新島学園は群馬県安中市という地方都市にある学校です。新島裏の「地方教育論」に基づいた教育を実践する使命を、同志社とは別に負っている学校だと思ふのです。群馬県を中心に様々な分野で活躍される卒業生を数多く学園は送り出してきました。同窓会根笹会の卒業生の方々の活躍が、新島裏の抱く地方教育の理想を追い求めてきた新島学園の歩みを証しています。

もう一つは「志」の持つ力です。先ほど述べたように新島裏がグレイス組合教会で行ったスピーチは彼の本務からいうと的外れな部分があったものです。しかし彼の日本を、日本の若者と思う情熱が人々の心を動かし、5000ドルもの寄付金を集めることができました。人の熱く純粋な思い、自分の利益ではなく神の御旨に叶うような、人や社会のために尽力しようと志す思いは人を動かすのだと改めて思いました。

今、世界の教育界ではエージェンシーの養成が重視されています。2019年にOECDがこれからの世界の教育のあり方を示した「ラーニングコンパス」で提唱されている考え方です。「変化を起こすために、自分で目標を設定し、

振り返り、責任をもって行動する能力」と定義されています。自分の人生や周りの世界をよくしていこうという意志を持ち、それを実現するために現代社会の問題点を探し当て、それを解決する方法を模索し、その方法を責任をもって実行していく能力と言い換えることができるでしょう。

日本の教育も世界の潮流に乗り、ラーニングコンパスの提唱する概念を実現しようとしています。戦後の高度経済成長長期に目指した「良質な労働者を量産する」「言われたことを迅速に確実にこなす能力」を重視した教育から、ラーニングコンパスに代表されるような、社会の当事者として社会をよりよく変革する意志と能力をもった人間、エージェンシーに満ちた人間を育てる教育に変わってきています。先ほど述べた学習指導要領の変化や、学力評価の観点の変化も、その流れに則ったものです。新島裏がグレイス組合教会でスピーチを行い、日本に帰り同志社英学校を創立し、教育とキリスト教伝道をもって日本を改良しようと全力を尽くした新島裏の生き方そのものが、エージェンシーの塊だったように思えます。

新島裏の教育理念は今から150年前のものであるにもかかわらず、現代の最先端を行く

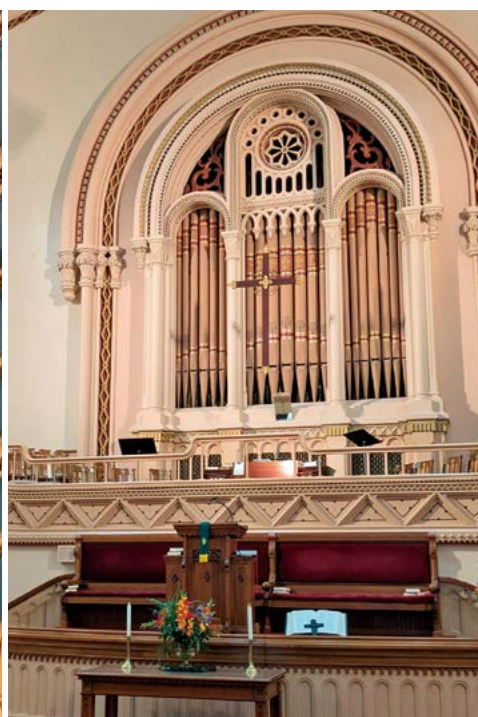
ものだったのです。社会がようやく新島裏に追いついたとも言えるでしょう。私たちもどうかしているとは他校の方がより新島精神を具現化していると言われかねません。より一層、新島精神を意識し推し進めていかなければなりません。グレイス組合教会で新島裏がスピーチした場所に立ちながら、その思いを新たにしました。

新島裏のスピーチから150年が経過しました。新島裏の志は同志社関係者だけでなく、私たち新島学園関係者にも引き継がれています。これからの50年で学園が何をするができるのか、新島裏自身から問われているのです。その最初の一步として、本校では来年度から高校2年生の「総合的な探究の時間」をより充実しようとしています。近隣の企業や団体と交流しながら、社会の問題を自分達で探し、自分達で解決方法を考え、解決のために少しでも前進していく。エージェンシーを養う基礎としていくことを計画しています。卒業生の皆様にもそのプログラムへのご協力をお願いすることがあると思います。その節はどうぞ、よろしく願います。

今回のアメリカツアーは本当に実りの多い旅でした。新島学園の源流に触れる旅でした。その機会を与えてくださった学園に心より感謝いたします。



グレイス組合教会

グレイス組合教会内部
(中央の講壇でスピーチしたか)

グレイス組合教会 天井

2025年度

新島学園同窓会『根笹会』の総会及び懇親会開催

6月7日(土)新島学園同窓会『根笹会』の総会及び懇親会が、マリエールウィル高崎にて行われました。

理事・評議員総数544名、出席者63名、委任状提出者224名の計287名。総会は定足数である2分の1を満たし成立しました。

『アイネクライネ・ナハトムジーク』で始まったオープニングは、管楽アンサンブルによる素晴らしい演奏が行われ、讃美歌『いつくしみ深い』『パッヘルベルのカノン』と続き、出席者からは大きな拍手が贈られました。



山田副会長の司会進行により、湯浅理事長にご挨拶いただきました。

引き続き、静会長が議長に選出され、各議案について審議・承認が行われました。

あと2年で、80周年となる今、何もしなければ生徒が半数になる可能性もあり、新島学園の強みである『同窓生』と学校との連携を深めて、ゼヒ生徒さんの紹介を『ハートの教育』ができるのが新島学園。その価値を共有していけたら。との提案がありました。

また、同窓会から学校へ、マイクロバス購入費用の目録が贈呈されました。

引き続き、中高、短大の現状が報告され、各部活動の目覚ましい活躍を聞き、とても嬉しく思いました。

総会終了後は、懇親会会場へ移動、湯川富岡から根笹会会長の乾杯の挨拶を皮切りに、和やかな雰囲気の中、期を超えて楽しい交流の場となりました。

出席者の平均年齢が上がって行く昨今、どうしたら20代30代の若い期の出席者が増えるかを考えながら、これからの『根笹会』のさらなる発展を期待します。



マイクロバスを学園に寄贈することになりました

この度、学園の中高向けにマイクロバスの寄贈を行う運びです。かねてより同窓会は会員同士の連絡調整や親睦を行うだけでなく、具体的な学園の運営に貢献できることは無いものか?と検討を続けてまいりました。

昨年の理事・評議員会(総会)にて、予算執行の許可を頂き約1年間の学校側での検討の結果、中高からマイクロバスの調達の希望が提出されました。

部活動が非常に活発な中、遠征等が近年大幅に増加傾向にあり、また生徒が直接使用する車両そのものに「根笹賞」の母体である新島学園同窓会「根笹会」の名前を付けて走行することは、生徒に対する意識付けにも大変良いことだと思えます。発注後、実際の納車は12月頃になりますので、次回の「根笹」では実車をお見せできると思えます。乞うご期待!!



恩師探訪

待 晨

新藤二郎先生の思い出

新島文化研究所 研究員 星野伸樹(32期)

新藤二郎先生
「新島学園40年の歩み」より

―待 晨―

旧約聖書 詩篇130篇の聖句

「わが靈魂は衛士が晨を待つに
まさりて主を待てり」

文語訳聖書

「私の魂はわが主を待ち望みます」

新共同訳聖書

『待晨』とは聖書の言葉から引用された造語で、主の到来を待ち望むという意味で使われています。新藤先生がご退任後に発刊された著書の題名に使われています。また、1987年献堂の新島学園礼拝堂の定礎の文字にも使われています。こうしたことから考えると、新藤先生の座右の銘の一つであったろうと考えられます。今回は先生を偲び、久しぶりに著書『待晨』を読み直しました。内容はその多くが新島学園の「学園だより」



新藤先生 著書『待晨』



新島学園礼拝堂内の定礎『待晨』

に書かれた巻頭言の文章です。年代順にこだわらず配置し、文体には多少の手直しをしてまとめ直したと記されています。

新藤二郎先生の在職記録を確認すると1953年4月から1992年3月の39年間です。そのうちの1980年9月から12年間は校長職にありました。先生の来歴を確認すると、小学校時代に群馬県で育ち中学校は

旧制の東京府立五中（現在の小石川中等教育学校）へ進学。その後旧制松本高校へ、そして東京帝国大学へと進学されています。

当時の府立五中と東大は、そのどちらもサッカーが非常に盛んで日本を代表する強豪校でした。府立五中と東大の後輩には、日本サッカー協会の第9代会長である岡野俊一郎さんが名を連ねているほどです。本校サッカー部の生みの親にして育ての親である新藤先生のサッカーは、そのような環境で培われ鍛えられたものだったのです。

現在でもその流れを受けて新島学園中高サッカー部は県内外で活躍しています。学園OBのサッカーコーチの皆さんが指導するチームを中心に招待して『新藤杯サッカー大会』が毎年開催されています。私は新藤先生に学級担任をしていただいたことはありませんし、サッカー部員でもありませんでした。唯一授業を受けたのも高1の1学期のみでした。そんな私が新藤先生について文章を書くことは少々不安がありました。私はこれまで同窓会報『根笹』にて六名の先生方について『恩師探訪』の文章を書きました。それらは、先生方お一人お一人についての私個人の印象や思い出、その先生とのふれあいを中心に書いてまいりました。今回は、生徒時

代に目にした『生物の先生や校長としての新藤先生の姿』を描こう。その後に【同僚として働かせていただいた経験で、教員の目から見た新藤校長の姿】を描こうと考えペンをとるに至りました。

私が新島学園高校に入学した1980年は学園にとって大きな変革の年でした。1961年から20年の長きにわたって校長職にあった岩井文男先生が体調不良により年度途中で退任され、教頭の岡部鎗三郎先生も同時に退任されたのでした。そして9月から後任として新藤二郎先生が校長に、吉井俊一先生が教頭に就任なさったのです。

年度の途中という事もあり、非常事態であることは生徒の目にも明らかでした。そのころ中学校は1学年2クラスで、高校から6クラス程度に増えるという学年が多く、いわゆる生徒急増期と言われていた頃でした。男子校だった新島学園に女子が入学したのは1968年で、すでに男女共学は定着していました。それでも男子生徒の方が人数の多かった時代です。そしてこの年からは、女子制服に合わ

球技大会の教員チームで打席に立つ新藤先生
ペーケン先生のスライドより

せたブレザーの制服が男子にも制定されたのでした。

私は新藤先生の授業内容や会話のテーマ、文章の特徴は「その知識の正確さ緻密さと、ウィットに富んだ内容の選択、そしてキリスト教に基づく確固たる信念」にあったのだと考えています。生徒時代の話で今でも時々思い出すのは、旧約聖書の『人は塵（土）からつくられた』という話と『献血推奨』の話です。前者は『南北に長い日本にはそれぞれの地域特有の文化があり、その地方で収穫された農作物を食べて体はつくられている。これはまさに創世記の（…）土の塵で人を形づくり…に他ならない。こうした営みはその

地域の風俗習慣はもちろん、そこに住む人の性格にも大きく影響する。例えば上州に住む人は義理と人情にあついがさっぱりしている、という上州人気質に成長することになる」というものでした。後者は「大怪我をした人がかえって長生きをする」という話があるがこれは事実である。体内の血液が新しく造られる、だから献血をすることを奨める」というものでした。どちらも生物の授業で人体について学んでいた時の内容だったと思います。教科書の内容から多少離れながらも、聖書に語られるような普遍の真理を思わせました。これらは万人に関係する内容であり、不思議な説得力がありました。

別に印象深い生徒だったのですか」と尋ねました。すると「かつてはほぼ全校生徒の顔と名前、出身地くらいは把握していた。最近は六学年全生徒数が1000人を越えた。卒業生に関しては学園で学んだ生徒は数万人を越えるまでになった。こうなると残念ながら以前のようにはいなくなりました。それでも、なるべく覚えるように心がけている。新島学園には兄弟姉妹はもちろん親子で通ってくれる御家庭が多い、私立学校はそういう方々を大切にしなければならぬ」と話されました。立ち話でのやりとりだったのですが、おそらくは新任教師に向けた教師心得のアドバイスだったのだと思います。それと同時に、私自身が学んでいた当時の事も記憶されているであろうことが容易に想像され「君も教師としてしっかり励め」との忠告も含まれていたのだらうと自戒しました。新藤先生が御退任してしばらくしてからの事、用事で学園にいらしていました。私は著



故 新藤二郎先生追悼記念誌

書《待晨》に書かれている内容をもとに矢内原忠雄先生のことをお尋ねしました。すると「矢内原先生は聖書を読む際に、読み違えたり詰まったりすることは一度もなかった。実に丁寧でよどみなく読まれる。本当に何度何度も繰り返し読んでお読みになっていたのであらう」としみじみと語っていたことが非常に印象的でした。

2025年4月に新島学園サッカー部OB会の方々のご尽力により『故 新藤二郎先生追悼記念誌』が発刊されました。私は関係者にお願いをして入手することが出来ました。そこには、多くの貴重な写真と共に創部からの戦績が全て記されています。それだけでなく強化合宿の参加者名簿、食事の献立までもが残されていました。驚いたのは今から60年前1965年の試合の、ボール支配率を記したであろうシートの存在でした。今ならさしずめ試合のビデオ映像記録でしょう。私は、知将がやるべきことを緻密に練り上げ、当時生徒であった我々の先輩方が鍛錬を重ね、クラブが飛躍し発展して行くプロセスを目撃した思いがしました。

管理に気を配っておられる新藤先生よりも長生きはできないよ、などと冗談交じりに話すことがあった、それなのにこんなに早く亡くなってしまうとはとても残念だ。いまだに信じられない」とと肩を落として語っていた姿を今でも思い出します。

高校卒業時に下さる記念品の色紙の字が《真実一路》であったことから推察できます。この言葉はもう一つの座右の銘だったのに違いないと考えています。

私は今回この文章を書くのにあたり、もう一か所《待晨》のあるところに参りました。そうです墓前報告です。著書・定礎・墓石すべての《待晨》の文字は、ご自身の手による書道作品からの転写だと思われました。報告した内容は「僭越ながら私が新藤先生のことを文章にいたします、拙文をお許しください。矢内原先生のお話を聞いてからは、聖書を読む際は慎重に丁寧な読みにになりました。先生のアドバイスを心に刻んでいます。」でした。新藤先生ならば、きつと笑顔で受け入れてくださることを信じてお祈りしてまいりました。



高崎市の霊園内の墓所 待晨

2024年度 第33回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

高等学校の部

	名称(部活動名等)	大会名	種 目	結 果
特別賞団体	ソフトボール部	令和6年度全国高等学校総合体育大会男子ソフトボール競技大会		第5位
		国民スポーツ大会少年男子ソフトボール競技		第5位
	陸上競技部	第77回 群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子総合	優 勝
	男子バスケットボール部/ MINAKAMI TOWN①	第11回 3 X 3 U18日本選手権群馬県予選		優 勝
	男子バドミントン部	令和6年度全国高等学校総合体育大会県予選会バドミントン競技大会 (全国高等学校総合体育大会出場)		優 勝
	女子硬式テニス部	令和6年度群馬県高等学校新人テニス大会	女子団体	準優勝
	サッカー部	令和6年度群馬県高等学校サッカー選手権大会兼 第103回全国高等学校サッカー選手権大会群馬県大会		第3位
	女子バドミントン部	第75回群馬県高等学校新人バドミントン大会		第3位
	山岳部	第59回群馬県高等学校総合体育大会登山大会		第3位
奨励賞団体	男子硬式テニス部	令和6年度群馬県高等学校新人テニス大会	男子団体	第4位
	演劇部	第30回群馬県高等学校総合文化祭演劇部門大会県大会 (関東大会 優良賞)		優秀賞

	名称(部活動名等)	名 前	学年	大会名	種 目	結 果
特別賞個人	スキー・スケート部	丸 山 左右吾	3年	第78回国民スポーツ大会冬季スケート競技会	ショートトラック	第3位
		萩 原 唯	2年	第59回群馬県高等学校総合体育大会スキー競技会	大回転	優 勝
		落 合 優希奈	3年	2024年群馬県陸上競技選手権大会	女子800m	優 勝
		水無瀬 実 央	3年	第59回群馬県高等学校総合体育大会 陸上競技	女子ハンマー投	優 勝
		大 沢 紗 野	3年	第59回群馬県高等学校総合体育大会 陸上競技	女子5000mW	優 勝
		桑 原 理 緒	3年	第59回群馬県高等学校総合体育大会 陸上競技	女子400mH	優 勝
		小田島 美 恩	2年	令和6年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子400m	優 勝
		新 谷 紗 由	2年	令和6年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子三段跳	優 勝
		清 水 り の	2年	第77回 群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子1500m	優 勝
	陸上競技部	川 上 聖 奈	1年	令和6年度群馬県高等学校陸上競技強化大会 混成競技会	女子七種競技	優 勝
		佐 瀬 龍之介	3年	第75回全国高校総合体育大会バドミントン競技大会 県予選会 (全国大会出場)	ダブルス	優 勝
		柳 澤 実	2年	令和6年度 JOC ジュニアオリンピックカップ群馬県予選会 ジュニアの部	ダブルス	優 勝
		濱 西 心 太	2年	第75回全国高校総合体育大会バドミントン競技大会 県予選会 (全国大会出場)	ダブルス	優 勝
		鵜 崎 守	2年	第75回群馬県高等学校新人バドミントン大会	ダブルス	準優勝
		金 田 凌 也	1年	第75回群馬県高等学校新人バドミントン大会	ダブルス	準優勝
		山 口 時 生	3年	群馬県高等学校体育連盟バスケットボール専門部 第11回 3 x 3 U18日本選手権群馬県予選 優勝		優秀選手賞
		武 田 倅 瑛	3年			大会優秀選手
		櫻 井 翔	3年	群馬県高等学校サッカー選手権大会兼 第103回全国高等学校サッカー選手権大会群馬県大会		大会優秀選手
	サッカー部	樋 口 大 和	3年			大会優秀選手
		柳 澤 史 輝	2年			優秀選手賞
		倉 林 華 夢	2年	第63回清水善造杯 群馬県テニス選手権大会	女子A級シングルス	優勝
	女子硬式テニス部	石 井 愛 笑	2年	群馬県高等学校新人テニス大会	ダブルス	準優勝
				第36回群馬県ピアノコンクール	高校生の部	最優秀賞
	特別課外活動（ピアノ）	前 川 桃 子	3年	第24回北関東ピアノコンクール	高校生Lの部 (専門外)	第1位
	特別課外活動（新島論文）	瀧 澤 脩	3年	2024年度新島襄生誕182年記念生徒・学生懸賞論文 『新島襄と安部磯雄～志を引き継いだ者～』	高等学校の部	優秀賞
		田 中 祥 聖	2年	2024年度新島襄生誕182年記念生徒・学生懸賞論文 『新島襄 命がけの飛躍－自由を求めた脱国－』	高等学校の部	優秀賞
	特別課外活動（馬術）	笠 原 悠 希	1年	第41回全日本ジュニア馬場馬術大会2024	馬場馬術	第3位
奨励賞個人	特別課外活動（新島論文）	島 津 尚 弘	3年	2024年度新島襄生誕182年記念生徒・学生懸賞論文 『新島襄と同志社における日本スポーツの推進』	高等学校の部	佳作
	特別課外活動（新島論文）	清 水 葉	3年	2024年度新島襄生誕182年記念生徒・学生懸賞論文 『肖像画を通して知る新島襄～サルトルの絵画論による美的鑑賞～』	高等学校の部	佳作

中学校の部						
	名称(部活動名等)		大会名		種 目	結 果
特別賞団体	ソフトボール部		第52回関東中学校ソフトボール大会 (第46回全国大会 出場)			優 勝
	男子バスケットボール部		第59回群馬県中学校総合体育大会 (関東大会出場)			準優勝
	男子硬式テニス部		群馬県中学校新人大会 第6回テニス大会		男子団体	第3位
	女子硬式テニス部		群馬県中学校総合体育大会 第6回テニス大会		女子団体	第3位
	名称(部活動名等)	名 前	学年	大会名	種 目	結 果
特別賞個人	陸上競技部	古井戸 莓 花	3年	令和6年度群馬県中学校新人陸上競技記録会	女子3年1500m	優勝
		境 原 桜 七	1年	第70回全日本中学校通信陸上競技群馬県大会	女子800m	優勝
		荒 川 温 大	1年	令和6年度群馬県中学校新人陸上競技記録会	男子走幅跳	優勝
	スキー部	堀 口 七 海	2年	2023年度第58回群馬県中学校総合体育大会スキー競技会 (全国中学校スキー大会出場) 2023年度第46回群馬県中学校新人スキー大会	大 回 転 ・ 回 転	第2位 優勝
	男子バスケットボール部	竹 之 内 隼	3年	群馬県バスケットボール協会 2024年度年間優秀選手賞	U15ベスト5	優勝 国税庁長官賞 群馬県知事賞 最優秀賞 群馬県推進委員会委員長賞
	特別課外活動 (英語弁論大会)	舘 野 光 希	3年	高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会群馬県大会		
	特別課外活動 (作文)	倉 田 遙 和	3年	中学生「税についての作文」		
	特別課外活動 (作文)	ダグラス・初加音	3年	第74回「社会を明るくする運動 作文コンテスト」		
	特別課外活動 (アチェリー)	富 澤 遼 人	1年	令和6年度 第2回群馬県インドアアーチェリー大会	18mR RC男子	優勝
	奨励賞個人	放送部	後 藤 結 香	2年	第41回NHK杯全国中学校放送コンテスト群馬県大会	アナウンス部門
数 野 千 明			2年	(全国大会出場)	朗読部門	優秀賞
特別課外活動 (水泳)		岡 田 苑 夏	3年	第48回関東中学校水泳競技大会	100m背泳	出場
		伊 東 麻 歌	1年	令和6年度群馬県中学校新人水泳競技大会	100m自由形	第5位

サマーコンサート2025

塩澤真輝(オルガン)

2025年8月31日(日)・9月1日(月)



8月31日(日)、新島学園礼拝堂にてサマーコンサート2025が開催されました。

今回は、若きオルガニスト・塩澤真輝さんをお招きし、バッハ、メンデルスゾーン、ヴィドールなどの名曲の数々が披露されました。

中でも、ヴィドール作曲《オルガン交響曲第5番》が全楽章にわたって演奏される機会は国内では極めて稀であり、圧巻の演奏に会場は深い感動に包まれました。

また、今回初の試みとして、スクリーンによる演出も行われました。

客席に背を向けて演奏するオルガニストの姿を、横に設置したカメラで撮影し、ステージ正面の大型スクリーンに映し出すことで、普段は目にする事の出来ない演奏の様子を来場者にご覧いただきました。

さらに、プログラム冒頭では弦楽団との共演もあり、若き奏者たちによる躍動感あふれる演奏が礼拝堂を華やかに彩りました。当日はここ数年で最も多い約400名もの来場者を迎え、会場は感動に満ちたひとときとなりました。

翌日、9月1日には生徒向けのコンサートも開催され、前日とは内容も大きく変わり、生徒の学びや気づきを意識したプログラムの中で、ヴィエルヌ《ウェストミンスターの鐘》や塩澤さんによる即興演奏が披露されました。生徒たちはその才能溢れる豊かな音楽表現に深く聴き入り、貴重な音楽体験となりました。



「根笹賞」 協賛金賛同者一覧

(2024年9月20日～2025年8月31日)

協賛金：企業の場合：1口10,000円 個人の場合：1口3,000円

協賛金 3,000円 【掲載辞退 16名】															
山 縣 英 明 (1期)	淡 路 博 和 (2期)	吉 田 窓 之 (3期)	田 村 量 基 (6期)	荻 原 安 大 (7期)	星 野 昭 雄 (8期)	柘 植 正 (8期)	山 鹿 英 助 (8期)	新 倉 良 次 (9期)	服 部 光 正 (9期)	石 田 彰 男 (9期)	田 島 武 夫 (10期)	前 田 茂 (11期)	中 島 久 晴 (11期)	小 島 信 生 (11期)	
藤 平 進 (11期)	上 原 克 昌 (12期)	難 波 克 明 (15期)	齋 藤 勤 (16期)	飯 沼 民 雄 (17期)	内 田 純 夫 (17期)	磯 貝 和 俊 (18期)	中 村 節 (19期)	松 江 実 (19期)	栗 原 昭 雄 (20期)	立 見 賢 治 (20期)	小 瀧 秀 夫 (21期)	大 山 哲 (23期)	上 原 メイ子 (24期)	上 原 亮 (24期)	
小板橋 秀 夫 (25期)	小 林 栄 郎 (25期)	谷 勝 彦 (25期)	上 原 薫 (26期)	沖 田 恭 子 (28期)	山 田 浩 美 (28期)	須 藤 仁 子 (29期)	小 舩 晃 (29期)	桑 原 弘 光 (30期)	山 田 勝 光 (30期)	星 野 伸 樹 (32期)	西 田 賢 一 (32期)	32期生一同	酒 井 三 恵子 (36期)	新 野 和 伸 (36期)	
久保庭 哲 夫 (37期)	高 澤 周 示 (42期)	田 中 徹 浩 (45期)	伊 佐 治 千 尋 (46期)	轟 夕 起子 (47期)	中 政 一 郎 (49期)	鈴 木 佳 代子 (51期)	吉 田 直 貴 (59期)	小 林 拓 郎 (63期)	紋 谷 有 典 (66期)	松 井 孝 裕 (67期)	紋 谷 萌 美 (69期)	金 子 真 幸 (70期)	近 藤 寿 音 (70期)	紋 谷 泰 輔 (70期)	
長 壁 凜 乃 (72期)	横 山 美 月 (72期)	金 子 真 也 (72期)	佐 藤 慎 之助 (72期)	松 島 勇 海 (73期)											
協賛金 2口 6,000円 【掲載辞退 3名】															
古 谷 健 (15期)	里 見 寛 雄 (16期)	大 類 博 史 (19期)	島 津 文 弘 (27期)	斉 藤 昇 (28期)	島 田 伸 子 (42期)	飯 塚 綾 乃 (43期)	茂 木 俊 輔 (73期)								
協賛金 3口 9,000円 【掲載辞退 7名】															
小板橋 志 朗 (14期)	櫻 井 宏 信 (21期)	柳 澤 肇 (24期)	山 田 中 久 (26期)	有 田 大 輔 (41期)	池 下 貴 子 (42期)	秋 葉 暁 (49期)									
協賛金 10,000円 【掲載辞退 2名・1社】															
鬼 形 正 明 (5期)	真 下 覚 (5期)	永 山 敏 之 (8期)	湯 川 重 男 (9期)	入 澤 忠 男 (15期)	阪 本 要 一 (15期)	遠 藤 稔 (15期)	田 島 龍 一 (19期)	関 口 俊 介 (26期)	紋 谷 直 幸 (32期)	陳 美 穂 (34期)	長谷川 久 志 (52期)	塚 田 陽 亮 (53期)	フォーチュンコンサルティング【小 林 謙 二 (15期)】 (株)島田教材社【島 田 芳 久 (17期)】 (株)コムテックス【小 林 正 明 (20期)】 萩原建設(株)【萩 原 永 史 (25期)】 (株)並木【静 朋 人 (32期)】 (有)池田組【池 田 繁 一 (34期)】 (株)ヤマハチクボニワ【久保庭 哲 夫 (37期)】 (株)糸庄【松 本 久美子 (45期)】 (株)永真工業【宮 永 真 実 (48期)】		
廣川書店【廣 川 温 人 (10期)】															
マリエールウィル高崎【小 泉 清 司 (19期)】															
(株)ダイワプリント【武 藤 康 敏 (19期)】															
(有)洛楽【田 中 由 美 (25期)】															
(株)セイデン【有 賀 一 師 (30期)】															
佐藤産業(株)【佐 藤 克 佳 (33期)】															
クリーニングサトウ【佐 藤 治 (37期)】															
(株)日本労務センター【山 田 恵 一 (37期)】															
(有)八百万商店【荻 原 昌 弘 (45期)】															
(宗)武尊山神宮【芳 澤 健 尊 (56期)】															
協賛金 15,000円 【掲載辞退 2名】															
8 期 生 同 窓 会 大 山 敬 世 (26期) 田 村 憲 一 (28期) 小板橋 紀 通 (39期)															
協賛金 20,000円 【掲載辞退 1名】															
(株)氷見鉄工所【氷 見 國 雄 (47期)】 医療法人協和会アライクリニック【新 井 哲 (29期)】															
協賛金 9口 27,000円 協賛金10口 30,000円 【掲載辞退 1名・1社】															
今 井 秀 司 (23期) 舘 次 郎 (13期) 桂 川 淳 (30期) 福 田 朋 和 (48期)															
丸山眼科クリニック【丸 山 明 信 (15期)】 (有)高崎塗装工業所【青 島 真 一 (43期)】															
協賛金 50,000円 【掲載辞退 1名】 協賛金 500,000円															
塚 田 有 三 (10期) 匿 名 (10期)															

以上協力者:161名 1,772,000円

以上、ご賛同いただいた皆様 ありがとうございました

学
園
祭

今回のテーマ「気分裏々！非日裏！」楽しめないようじゃ無理か、学園祭はね楽しまないと。」には、本校と深い関わりのある新島裏を知っていただく機会と、日常を離れた特別な時間を心から楽しんでほしいという思いを込めました。

2日間の開催を通して、出店や展示、ステージ発表など、来場者の皆様とともに非日常の空間を共有できたことを、実行委員一同心から嬉しく思っております。学園祭の成功は、新島学園生、実行委員、生徒会、教職員、そして地域の皆様のご協力があったからこそ実現したものです。

特に高2・高3生にとっては最後の学園祭となりましたが、皆が悔いなく、思い切り楽しむ姿が印象的でした。この2日間が、皆様の心に残る素敵な思い出となっていれば幸いです。

改めて、ご来場いただいた皆様、そしてご支援くださったすべての方々に、心から感謝申し上げます。

学園祭 実行委員長
高校3年 関根 怜 良

地区根笹会・同期会

2024年度 開催報告			
〈地区根笹会〉	東京根笹会	2024年 7 月 5 日(金)	日本外国特派員協会 80名
	安中根笹会	2024年 7 月 6 日(土)	並木苑 60名
	高崎根笹会	2024年10月 4 日(金)	マリエールウィル高崎 73名
	富岡かんら根笹会	2024年11月 9 日(土)	ホテルアミューズ富岡 42名
〈同 期 会〉	21期同期会	2024年 4 月17日(木)	高崎市 暢神荘 33名
	26期同期会	2024年 6 月15日(土)	ホテルグランビュウ高崎 47名
	9 期同期会	2024年 6 月25日(火)～26日(水)	ホテル磯部ガーデン 11名
	15期同期会	2024年11月 2 日(土)	ホテルメトロポリタン高崎 19名
	39期同期会	2024年11月 2 日(土)	エテルナ高崎 70名
	32期同期会	2024年11月23日(土)	ホテルメトロポリタン高崎 28名
	60期同期会	2025年 1 月 4 日(日)	エテルナ高崎 100名
	64期同期会	2025年 1 月 4 日(日)	エテルナ高崎 79名
	72期同期会	2025年 1 月12日(日)	ホテルメトロポリタン高崎 145名
	25期同期会	2025年 2 月23日(日)	羅珈亜樹 38名
2025年度 開催予定			
〈地区根笹会〉	吾妻根笹会	未定	
	東京根笹会	2025年 7 月 4 日(金)	日本外国特派員協会
	安中根笹会	2025年 7 月 5 日(土)	並木苑
	高崎根笹会	2025年10月 3 日(金)	マリエールウィル高崎
	前橋根笹会	2025年11月29日(土)	Tablao Ristorant ノーチェ・アズール
	富岡かんら根笹会	2025年11月 8 日(土)	ホテルアミューズ富岡
	伊勢崎・佐波根笹会	未定	
	桐生根笹会	今年度実施しない	
	埼玉根笹会	未定	
	軽井沢根笹会	未定	

2024年度事業報告

年月日	事業名	場 所	備 考
2024年 4月30日(火)	本部役員会	新島学園 フィリアホール	総会について
6 月 1 日(土)	理事・評議員会(総会)	マリエールウィル高崎	
9 月 1 日(日)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園 礼拝堂	主催：新島学園中学校 高等学校
9 月 2 日(月)	サマーコンサート(生徒向け)	新島学園 礼拝堂	主催：新島学園中学校 高等学校
9 月10日(火)	本部役員会	新島学園 フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
9 月16日(月・祝)	第46回ゴルフ大会	富岡倶楽部	担当期：36期、42期
11月 1 日(金)	同窓会報「根笹」57号発行		同窓会報「根笹」郵送
2025年 1 月下旬	本部役員会(根笹賞選考会)	新島学園 フィリアホール	感染症防止のため書面決議
2 月28日(金)	同窓会入会式	新島学園 礼拝堂	高校卒業式予行にて
3 月 1 日(土)	根笹賞授与式(高校)	新島学園 礼拝堂	高校卒業式にて
3 月19日(水)	根笹賞授与式(中学)	新島学園 礼拝堂	中学卒業式にて

2025年度事業計画(案)

年月日	事業名	場 所	備 考
2025年 4月30日(水)	本部役員会	新島学園フィリアホール	総会について
6 月 7 日(土)	理事・評議員会(総会)	マリエールウィル高崎	
6 月14日(土) 15日(日)	第34回学園祭	新島学園	
7 月	本部役員会	新島学園 フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
8 月31日(日)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園 礼拝堂	
9 月15日(月・祝)	第47回ゴルフ大会	富岡倶楽部	担当期：37期、43期
11月 1 日(土)	同窓会報「根笹」58号発行		同窓会報「根笹」郵送
11 月中旬	本部役員会	新島学園 フィリアホール	
2026年 1 月中旬	本部役員会	未定	根笹賞選考会
2 月27日(金)	同窓会入会式	新島学園 礼拝堂	高校卒業式予行にて
3 月 2 日(月)	根笹賞授与式(高校)	新島学園 礼拝堂	高校卒業式にて
3 月17日(火)	根笹賞授与式(中学)	新島学園 礼拝堂	中学卒業式にて

根笹会開催報告

東京根笹会

今年（2025年）の東京根笹会は7月4日に日本外国特派員協会（FCCJ）にて出席者49名で開催されました。

学園から湯浅康毅理事長・学園長始め5名の方、同窓会から3名の方が出席されました。ご来賓ありがとうございました。

かえりみれば1968年に東京根笹会が発足し初代会長に大塚功男（3期）先輩が、以後西野繁（5期）、石黒健司（6期）、松本政之（9期）の諸先輩が会



司会の志村美土里氏



藤井聡子氏

長を務め根笹会運営にご尽力いただき、その間コロナ禍により3年間中止もありましたが今年で57年になる歴史ある会です。

しかし長い歴史の中での運営について会の若返りが必要と考えています。そのためのトライアルがスタートしておりますのでご紹介致します。

東京根笹会の課題は「若年層の勧誘」と「執行部の若返り」です。

長らく案内宛先リストが27、28期で止まっていたので、ここ数年、同窓会名簿を頼りに往復ハガキで発信（メールアドレスが未記載のため）。若干効果が出てきました。今後は同窓会本部、学校現場と相談の上卒業→同窓会のルート構築を考えたいと思います。

参加者の層が広がると「期幹事会」が重要になります。年齢、多忙などを理由に幹事不在



小林会長の締めめの語

の期も増え機能不全になっています。改めて「新幹事会」の組織化と年代層別の「ハブ幹事会」も考慮中です。

現役世代にとって実りある場作りを目指し、世代、業種を超えた交流のきっかけとなる様、仕事、専門ジャンル、興味などを名札に記入してもらうトライアルも始めてみました。

例年トピックスを紹介していますが、限られた時間のため今年にはメニューを絞り、28期藤井聡子氏の新規事業を紹介。卒業生によるホットな話題を知る機会となったと思います。

初参加者の紹介も恒例化。今年には30期の横山順一氏（東大教授）と43期小林幸氏（IT関係）の2名でした。ご参加の継続とメンバー拡大に期待します。

昨年「東京根笹基金」を開始しました。強要するものではありませんので進行はゆっくりですが、いつか社会、母校のために役立つことを目指します。

懇親会でご紹介しましたが、29期山口氏や36期滝口氏の冷静

な分析と様々な提言、総合司会も声楽家で40期の志村氏が担ってくれるなど、徐々に世代交代は実行されつつあります。多忙な世代に執行部を委譲するのは容易ではありませんが、現執行部との協業で時代に即したオペレーションに改革し世代交代を実行したいと思っています。

ともあれ、逝去者（松本前会長他5名）への黙祷とミニ礼拝（17期有馬牧師）に始まり、締めは小林会長による祝いの語（附祝言「狸々」という東京根笹会らしいバラエティに富んだ2時間でした!!

文：（前半）会長 小林謙二（15期）（後半）事務局 武者 寛（20期）
写真：越中 稔（27期）

安中根笹会

7月5日（土）並木苑において安中根笹会（萩原永史会長（25



期）総会および懇親会が総勢75名にて開催されました。来賓として湯浅理事長を始め学園関係者、静朋人同窓会長を始め各地区根笹会会長のご出席をいただき盛況に開催することができました。

37期 佐藤英樹

第14回高崎根笹会

10月3日（金）マリエールウィル高崎にて第14回高崎根笹会（新会長 根岸 誠氏28期）総会及び懇親会が開催されました。



学園から湯浅康毅理事長、同窓会本部、安中・前橋・富岡から桐生各地区根笹会会長の御来賓を頂き総勢88名出席、盛會にて終了致しました。

高崎根笹会は毎年10月開催しており同窓皆様のご参加をお待ちしております。

37期 菊地和美

同窓会開催報告

72期同窓会

1月12日(日)ホテルメトロポリタン高崎大宴会場にて、後藤先生・櫻井先生・須永先生・戸塚先生をお迎えして、72期同窓会を初めて開催しました。二十歳を迎えた145人の参加者は、数年ぶりに再会した友人達と中学・高校時代を懐かしみ、用意されたゲームで和気藹々と楽しんできました。「お互いに頑張ろう」と言葉を交わし合い、各々に二次会へと流れていき

72期 小田部妃那



第47回新島学園同窓会ゴルフ大会報告

■日時 2025年9月15日(月祝)
■会場 富岡倶楽部(富岡市)

9月15日(月祝)、富岡倶楽部において、厳しい残暑の中、同窓会ゴルフ大会が開催されました。

37期・43期の同窓生が運営幹事を担当し、幹事期の皆さまからの積極的なお声掛けの結果参加人数は118名(うち女子18名)と、今年も多く同窓生にご参加いただき盛大なゴルフ大会となりました。

また2022年の同大会開催から、新型コロナウイルス対策の観点において、プレー後の表彰式を取り行わない形式も、今回

で4回目を迎え、皆さまのご了承の上、定着してまいりました。今回も前半ハーフプレーでのスコア集計方法を採用し、1ラウンド終了後には、成績表と賞品を受け取る形式を採用しております。

一同に会した表彰式パーティーを行わないことは、同窓生の交流も少なくなってしまうのではないかと、懸念点もありましたが、同級生はもとより、先輩・後輩との久々の再開に、プレー終了後や賞品受け渡し会場では学年を超えた交流も、例年



優勝 桑子弘昭氏(25期)

に変わらず多数見受けられ、運営する幹事の皆さまも安堵の表情でした。さらには、今年もたくさんの同窓生からの協賛賞品をご提供いただきました。本大会運営に

結果報告(敬称略)

優勝

桑子弘昭 (25期)
イン 44 ネット 34.4

女子優勝

柳澤元子 (31期)
アウト 46 ネット 36.4

ベストブロス

梅山立之 (39期)
イン 38

準優勝 清水俊司 (29期)
3位 塚田功 (40期)
4位 氷見国雄 (47期)
5位 梅山立之 (39期)
6位 美濃部貴彦 (45期)
7位 榊研二 (35期)
8位 松井朋之 (37期)
9位 清水幹樹 (46期)
10位 山口英彦 (29期)



おきまして、協賛賞品提供や多大なるご協力をいただきましたこと、また開催コースのスタッフの方々のご配慮には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。来年度の「第48回新島学園同窓会ゴルフ大会」開催は、2026年9月に、同「富岡倶楽部」において行う予定です。正式な日程に関しては、9月の大型連休の観点から開催日を検討しておりますので、決定次第改めてご案内いたします。幹事担当は38期・44期生の皆さまです。宜しくお願いいたします。

今年ご参加の皆さまはもとより、特に30・40・50期以降の皆さまの積極的なご参加を期待しております。

追記 2020年・2021年と新型コロナウイルス感染症による2度の同ゴルフ大会の開催中止を挟み、20期前後より上の世代の参加が減少していることは、昨今の夏の気温や年齢も加味して致し方なく思うところもありますが、来年の開催も盛大に行いたく思いますので、学年問わずお誘い合わせの上、大先輩方も是非ともご参加賜りますようお願い申し上げます。本年の報告といたします。

2024年度同窓会決算報告


一般会計 2024年度 収支決算書					一般会計 2025年度 収支予算書(案)				
収 入					収 入				
(2024.4.1～2025.3.31)					(2025.4.1～2026.3.31)				
(単位：円)					(単位：円)				
科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考	科目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
同窓会費収入(会費収入)	3,770,000	3,790,000	20,000	10,000×379(中1×137 高1×240 転入×2)	会費収入	3,450,000	3,790,000	▲340,000	10,000×345(中1×128 高1×217)
名簿代収入(雑収入)	40,000	23,240	▲16,760	名簿 4,500×5 送料 370×2	資産運用収入	5,000	4,400	600	預金利息
雑収入(その他収入)	1,800,000	2,034,132	234,132	総会懇親会費 根笹協賛金	協賛金収入	1,800,000	1,802,000		根笹協賛金(手数料除く)
利息収入(資産運用収入)	400	4,400	4,000	定期 204 普通 4,196	諸会議登録料収入	200,000	208,000		総会懇親会費
前年度繰越金	19,546,688	19,546,688	0		雑収入	23,360	47,372	▲24,012	
収入合計	25,157,088	25,398,460	241,372		前年度繰越金	12,127,978	19,546,688	▲7,418,710	

支 出					支 出				
(単位：円)					(単位：円)				
科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考	科 目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
印刷費	0	0	0		会議費	650,000	555,199	94,801	総会・役員会等
会議費	650,000	555,199	▲94,801	総会・役員会等	機器備品賃貸料	160,000	95,682	64,318	コピー機リース代 使用料等
事務費(機器備品賃貸料)	160,000	95,682	▲64,318	コピー機リース代 使用料等	消耗品費	5,000	2,507	2,493	
消耗品費	5,000	2,507	▲2,493	USB等	課外活動教育補助費	250,000	240,000	10,000	部活動全国大会等
遠征費補助金支出 (課外活動費支援金)	250,000	240,000	▲10,000	部活動全国大会出 場祝金	各期活動費支援金	150,000	100,000	50,000	10,000×15
同窓会等助成金支出 (各期活動費支援金)	30,000	100,000	70,000	10,000×10	支部活動費支援金	150,000	120,000	30,000	30,000×5
同窓会等助成金支出 (支部活動費支援金)	0	120,000	120,000	30,000×4(東京・安 中・高崎・富岡甘楽)	会報発行費	1,250,000	1,421,623	▲171,623	根笹作成及び発送 委託費他
同窓会主催事業費(事業費)	1,700,000	0	▲1,700,000		サマーコンサート共催金	50,000	50,000	0	
(会報発行費)	0	1,421,623	1,421,623	根笹作成及び発送 委託費他	ゴルフ大会支援金	100,000	100,000	0	
(サマーコンサート共催金)	0	50,000	50,000		特定基金支援金	300,000	300,000	0	根笹基金
(ゴルフ大会支援金)	0	100,000	100,000		県下高校OB・OGゴルフ大会支援金	40,000	45,550	▲5,550	
(特定基金支援金)	0	300,000	300,000	根笹基金	母校への寄付金	10,000,000	0	10,000,000	マイクロバス購入 支援
学園協賛金(学園祭応援助成金)	0	0	0		学園祭応援助成金	300,000	0	300,000	
旅費交通費	10,000	10,000	0		旅費交通費	10,000	10,000	0	
通信費(通信発送費)	105,000	103,734	▲1,266	電話及び郵便代(名簿 送料含む)等	通信発送費	105,000	103,734	1,266	電話及び郵便代 (名簿送料含む)等
根笹編集関連費(広告費)	110,000	110,000	0	ホームページ維持 管理等	広告費	110,000	110,000	0	ホームページ維持管 理等
雑費	40,000	61,737	21,737	県下高校OB・OGゴル フ大会参加費・市費等	雑費	0	16,187	▲16,187	市費等
特定積立金支出	0	10,000,000	10,000,000	定期預金	特定積立金支出	0	10,000,000	▲10,000,000	
予備費	30,000	0	▲30,000		予備費	30,000	0	30,000	
支出合計	3,090,000	13,270,482	10,180,482		支出合計	13,660,000	13,270,482	389,518	
次年度繰越金	22,067,088	12,127,978	▲9,939,110		次年度繰越金	13,946,338	12,127,978	1,818,360	
合計	25,157,088	25,398,460	241,372		合計	27,606,338	25,398,460	2,207,878	

注:予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

注:予算差異の▲は、前年度実績を下回る予算額を意味する。
※次年度繰越のうち1,000万円を下記財産目録記載の定期預金に移動する。

収支決算 財産目録		予算案 財産目録	
(単位：円)		(単位：円)	
資産の部		資産の部	
	決算額		前年実績 予算額
現金	198,431	現金	200,000 198,431
振替口座 ゆうちょ銀行	1,878,660	振替口座:ゆうちょ銀行	2,300,000 1,878,660
普通預金 群馬銀行/安中446478	10,050,887	普通預金:群馬銀行/安中446478	11,446,338 10,050,887
繰越金合計	12,127,978	繰越金合計	13,946,338 12,127,978
固定性定期預金:群馬銀行/安中368546	22,000,000	固定性定期預金:群馬銀行/安中368546	12,000,000 22,000,000
正味財産合計	34,127,978	正味財産合計	25,946,338 34,127,978

根笹基金 2024年度 収支決算書 (2024.4.1～2025.3.31)				
収 入				
(単位：円)				
科 目	決算額	備 考	支 出	備 考
前年度繰越金	15,824,667	定期 15,000,000 普通 824,667	褒賞費	268,220 ギフトカード
運営支援金収入	300,000	同窓会一般会計より	賞状印刷代	89,430 賞状ファイル代・印刷代
利息収入	710	定期:255.普通:455	雑費	550 残高証明書代
雑収入	113,000	ゴルフチャリティー 1,000×133	次期繰越金	15,880,177
収入合計	16,238,377		支出合計	16,238,377
根笹基金 財産目録				
資産の部 (単位：円)				
普通預金 群馬銀行/安中支店No.741658	880,177		会計監査報告 2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日) の一般会計及び根笹基金会計の会計帳簿並びに 証書書類を監査した結果、すべて適切・正確に 処理されていると認めます。 2025年4月30日 会計監査人 	
定期預金 群馬銀行/安中支店No.378360	15,000,000			
正味財産	15,880,177			